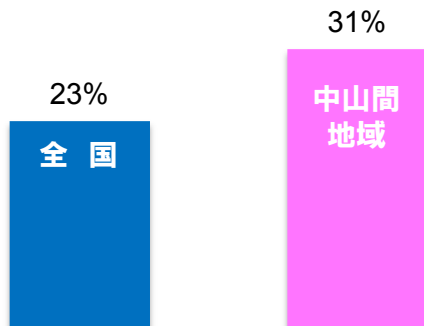


2. 中山間地域の現状と道の駅

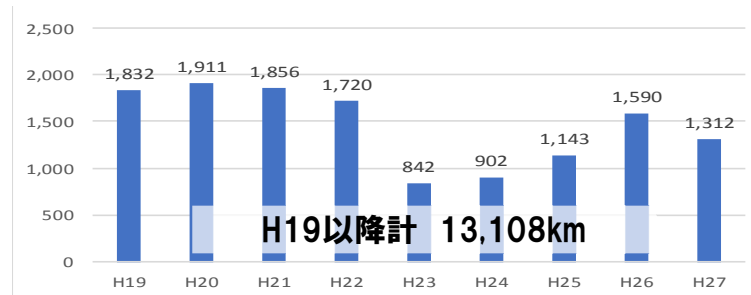
全国の10年先に行く 高齢化の進行

高齢化率の比較(H22)



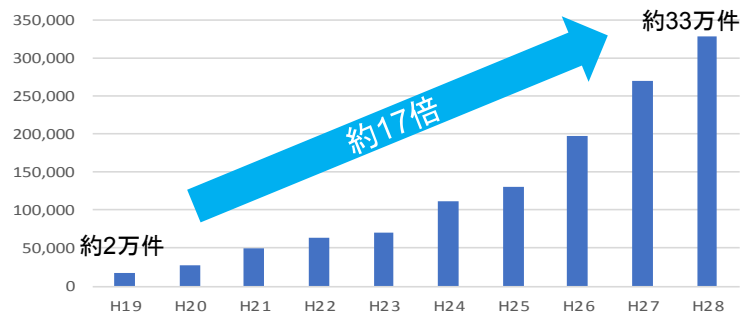
公共交通が衰退し 買物・病院に行けない

路線バスの廃止路線延長の推移



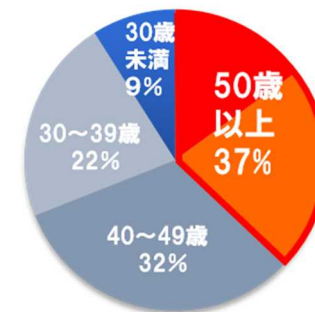
車の運転が出来ない 高齢者の急増

運転免許の自主返納件数(65歳以上)の推移

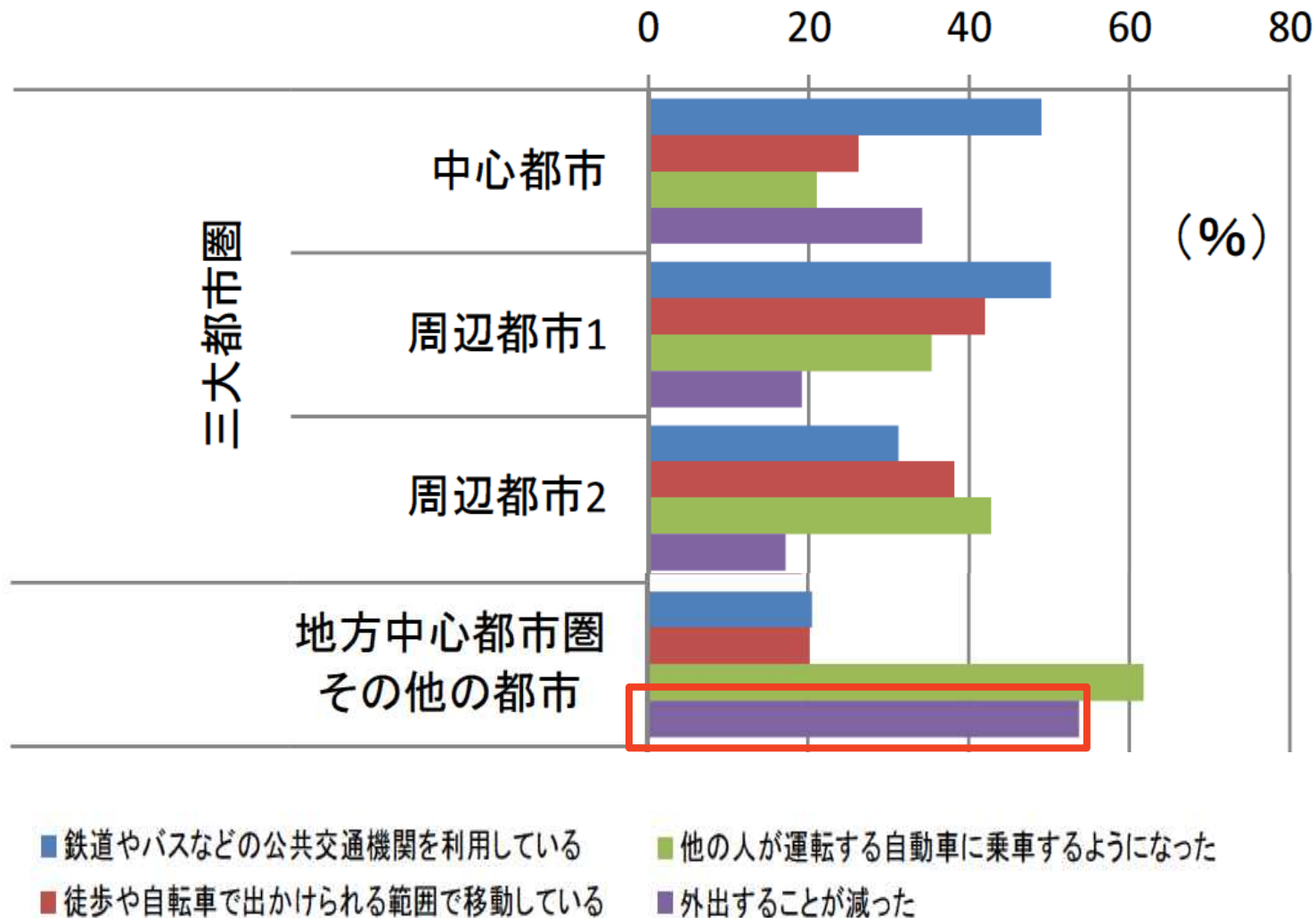


トラック運転手不足で 物が届かない

トラックドライバーの
約4割が50歳以上

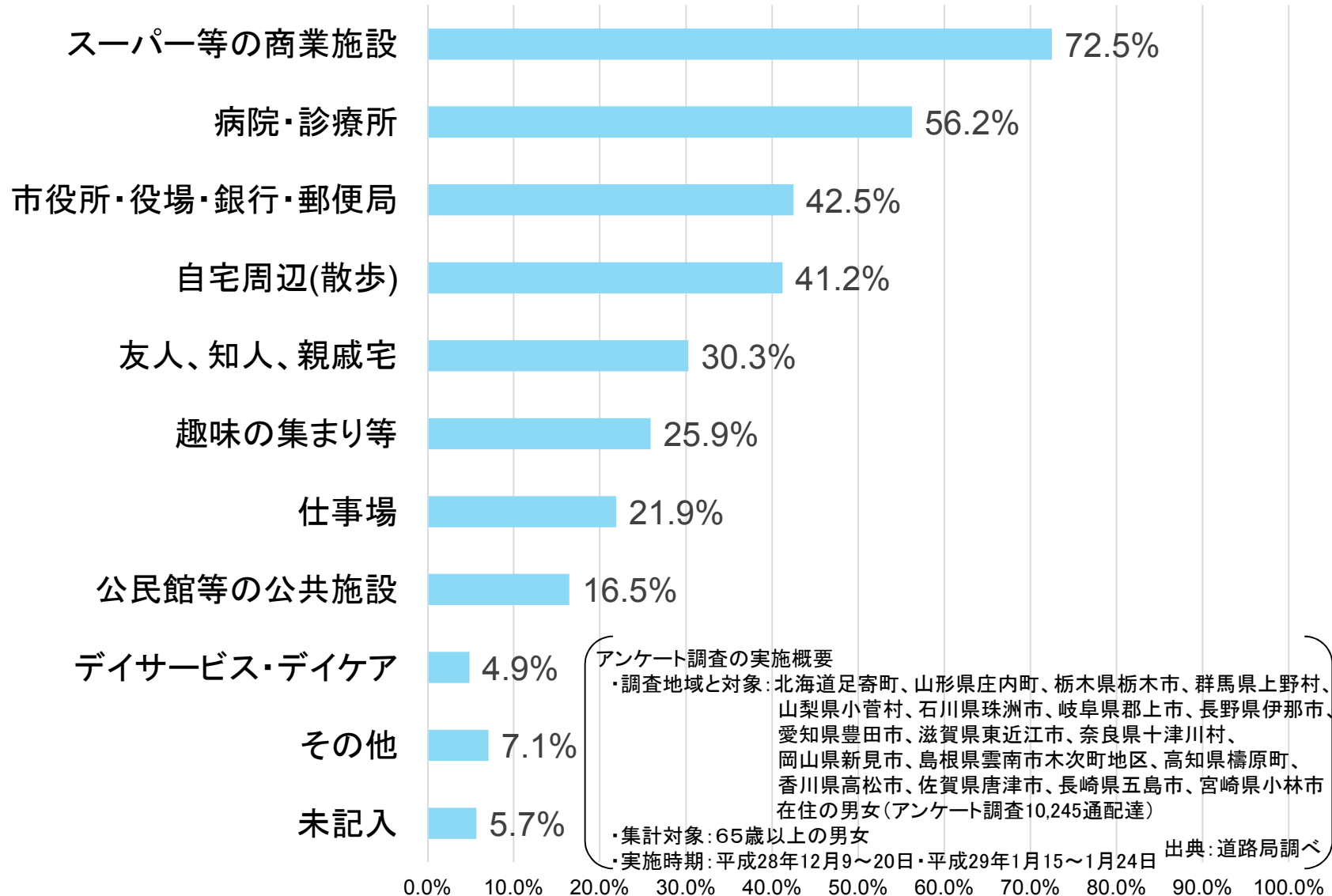


○ 自動車の運転を断念後、地方部では75歳以上の約5割が外出を減少



○高齢者の外出先としてよく出かけるのは商業施設、病院、市役所など

Q.よく出かける場所(複数回答) < N=2,077 >



全国「道の駅」の設置状況と機能

全国「道の駅」登録数: 1,117 駅
 (H29年 4月21日時点)

**地域外から活力を呼ぶ
ゲートウェイ型**

地域の観光総合窓口機能
 地域全体の観光案内、宿泊予約窓口 等

インバウンド観光の促進
 外国人案内所、免税店、無料公衆無線LAN、海外対応ATM 等

地方移住等の促進
 地方移住のワンストップ窓口
 ふるさと納税の情報提供 等

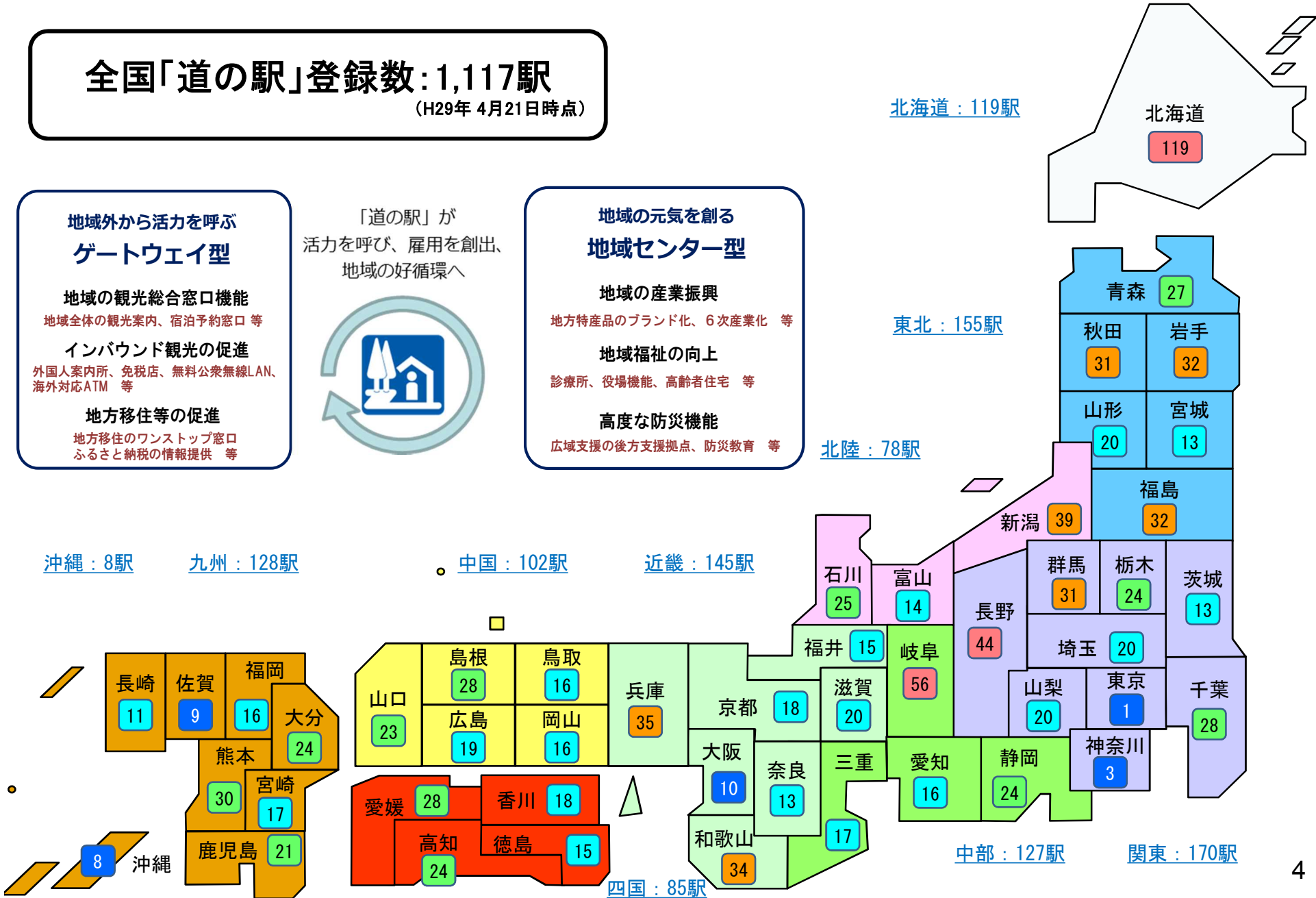


**地域の元気を創る
地域センター型**

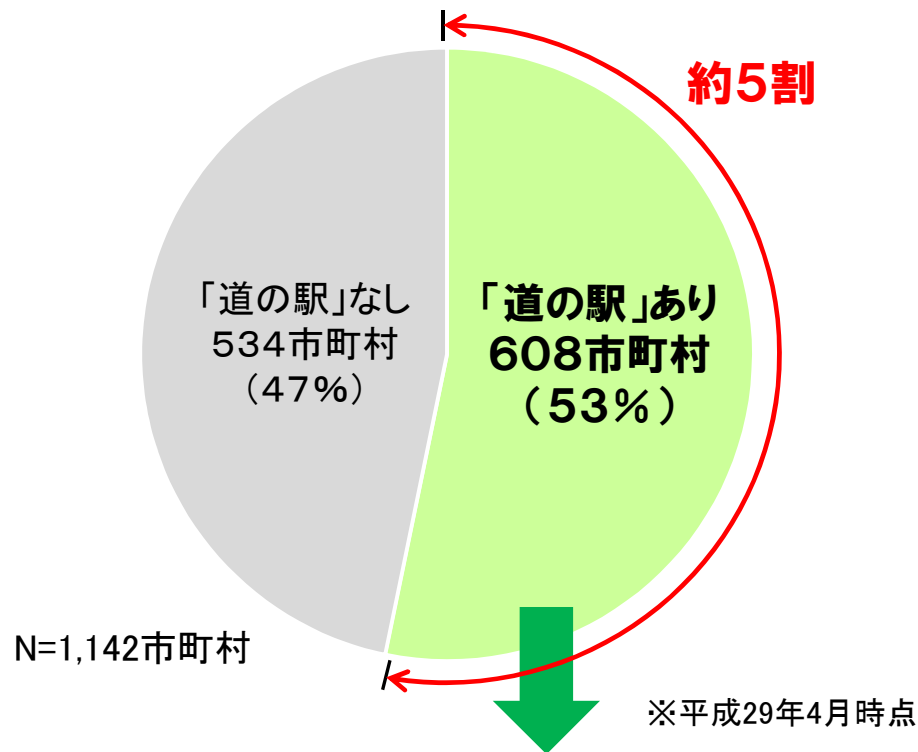
地域の産業振興
 地方特産品のブランド化、6次産業化 等

地域福祉の向上
 診療所、役場機能、高齢者住宅 等

高度な防災機能
 広域支援の後方支援拠点、防災教育 等



■ 全国の中山間地域の市町村のうち、約半分に道の駅が設置されている。

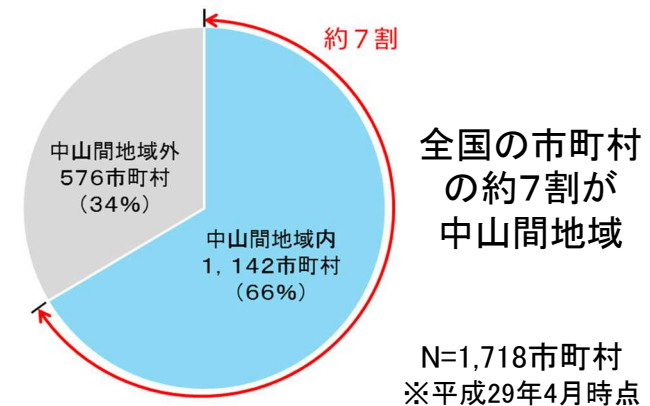


- 道の駅がある市町村の人口合計は約2,900万人
(日本の総人口の約23%)
- 道の駅の約8割にあたる876駅が設置されている。



中山間地域：
特定農山村法※、山村振興法、過疎地域活性化特別措置法、
半島振興法、離島振興法に位置付けられた市町村

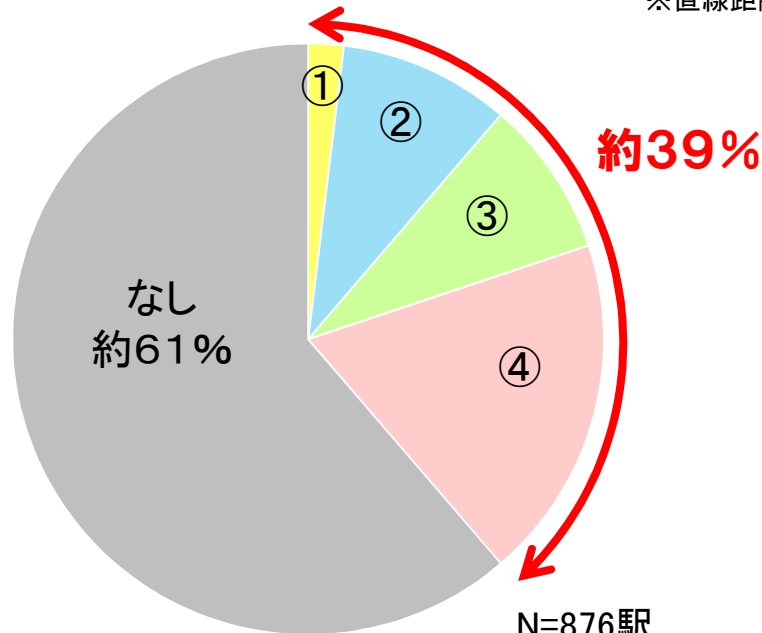
- ※[1] 勾配1/20以上の田面積が全田面積の50%以上、
但し全田面積が全耕地面積の33%以上
- [2] 勾配15度以上の畑面積が全畑面積の50%以上、
但し全畑面積が全耕地面積の33%以上
- [3] 林野率75%以上



病院・診療所

約39%が1km圏内※に病院・診療所あり

※直線距離



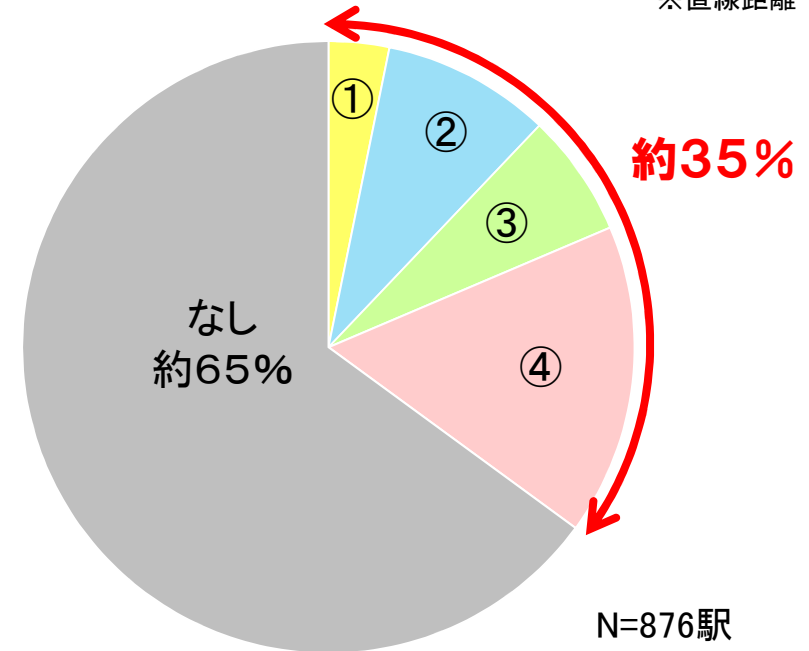
N=876駅
※平成29年4月時点

①	道の駅内	17駅	2%
②	～300m	82駅	9%
③	～500m	75駅	9%
④	～1km	165駅	19%
計		339駅	39%

役場機能

約35%が1km圏内※に役場機能あり

※直線距離



N=876駅
※平成29年4月時点

①	道の駅内	28駅	3%
②	～300m	78駅	9%
③	～500m	57駅	7%
④	～1km	144駅	16%
計		307駅	35%

バス停

約44%が道の駅にバス停あり

